

リーグ戦・女子部リーグ戦代替大会

立合要項

- ・試合の進行方法は立合と両対戦校の三者による協議をもって決定する。
- ・立合は事前に都学連ホームページから必要書類をダウンロードし、必要に応じて印刷するなどの準備をすること。
- ・試合中に異常が発生した場合は進行を一時中断し、立合と両対戦校による三者協議で解決すること。その際、何が起きてどうやって解決したか等の事情を学連に報告すること。

立合書類提出

- ・試合終了次第、速やかに主審は都学連宛てに必要書類を **pdf形式** でメールで送信すること
- アドレス：r4.togakuren.iinkai@gmail.com

提出書類:公式記録用紙

立ち合い書類のリンク

<http://togaku-kyudo.com/info/%E4%BB%A4%E5%92%8C4%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B0%E6%88%A6%E9%96%A2%E9%80%A3%E8%B3%87%E6%96%99%E8%BF%BD%E5%8A%A0%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6-2>

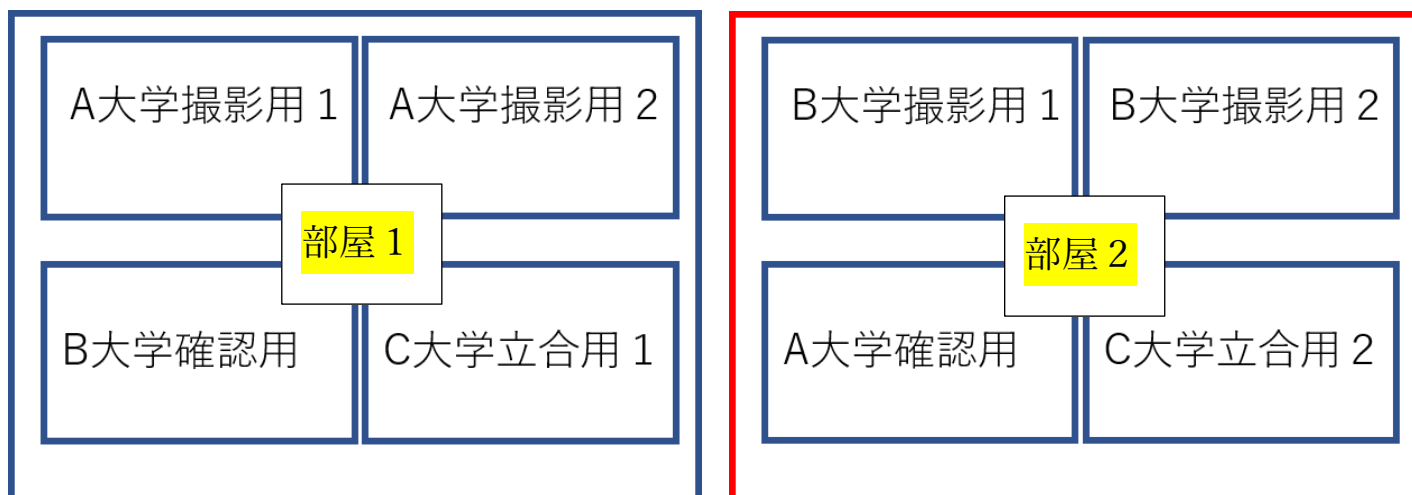
Zoom の部屋の作り方

立合い同士でコミュニケーションをとる必要があるため、立合い同士が同じ場所にいることが望ましい。

男子の試合の場合

例：A 大学対 B 大学 立合 C 大学

zoom の部屋を 2 つ作り、それぞれに立合いが 1 人ずつ入る。



ブレイクアウト機能を使うと円滑に行えます。

それぞれの立合いが用意するもの

印鑑・立合要項・公式記録用紙（1）・選手登録用紙（A 大学、B 大学分）・東京都学生弓道連盟規約（+規約の解釈付）・公式記録記入例・立合状・

試合の流れ

各大学で行われる試合を、zoom を利用して相互、立合いが監視する。

尚、立合い同士がコミュニケーションをとる場合が多々あるため、立合いの人は同じ場所から立合いを行うことが好ましい。

9：00 道場準備完了

9：30 両校代表者と立合の三者でつなぐ

立合いは立合状を記入して、両大学に共有する。

ZOOM の部屋は二つある。

ZOOM① A 大学撮影用、立合、B 大学確認用

ZOOM② B 大学撮影用、立合、A 大学確認用

同時に引くと確認、的中の報告がおよそ同時に行われることから、部屋が2つ必要となる。

9：40 付け矢開始

10：20 付け矢終了

立合い状に記入し、両対戦校に提出する。(記入後、写真を撮って送信などの方法を取る。) 両校の立順の交換、立合いへの提出(事前に line グループを作っておく等の方法をとるとスムーズに行える。)

立合いは立順に登録されている選手が選手登録されているかを選手登録用紙を参照して照合する。

10：30 試合開始

・立合いと対戦校で連絡を取り、「〇〇分から試合を行う」などのアナウンスを立ち合いがすると足並みをそろえて進行をすることが可能となる。

・試合の進行状況は両校で合わせる。

・立合いは自分が担当する大学の的の中を毎本公式記録用紙に記入する。

・確認の仕方は都学連 YouTube にアップロードされている動画を参照。

<https://youtu.be/vqlSYKS-Tuw>

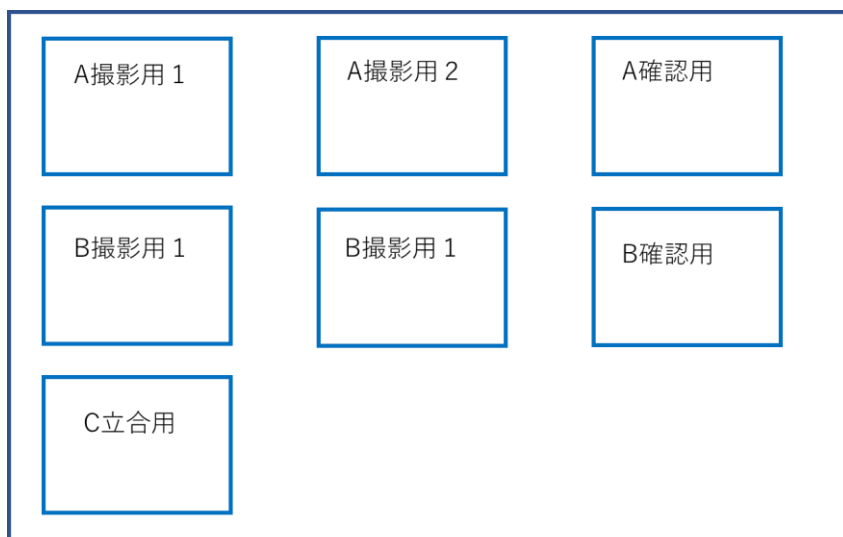
各回が終わり、確認が終わるたびに記録用紙の写真を撮って送るなどの方法での的の中を照合する。

一回にかかる時間は大学によって異なる。よって同じペースで試合を行うため、各回ごとに立ち合いが両校の進行具合を見ながら「はじめ」のように合図を出す。

試合終了後

試合が終了したら、立合いの両名はそれぞれ自分が担当した大学の的の中を一枚の公式記録用紙にまとめ、pdf(手書きの場合は写真でも可)の形式で都学連にメールで送信する。

女子の場合 立ちが交互に行われるため、1部屋でも可能である。



ほかは概ね男子と同様である。

選手交代の時

選手交代があるときは、選手交代をする大学から相手校、立ち合いに共有する。方法は三者協議で事前に定める。(line グループなどを事前にとっておくとスムーズに行える。Zoom のチャットや口頭でも可能とする。)

交代が双方に受理されるまで次の立ちは開始しないように注意する。

終了後の流れについては立ち合いが入れる場合の要綱を参照。

試合が終了次第、学連事務所に結果報告

試合終了次第、両校の記録を一枚の公式記録用紙にまとめ、pdf の形式で都学連にメールで送ること。

○提出する書類：公式記録用紙

提出先メールアドレス

r4.togakuren.iinkai@gmail.com

◇主なトラブル対処法

①附矢開始 30 分前に間に合わない場合

○学連事務所に速やかに連絡する

TEL 03-6910-0791/03-6910-0792

→待機している学連役員が、各校責任者に取り次ぎます。

②対戦校が遅刻した場合

○対戦校が来ない場合は**すぐに学連事務所に連絡する。**

○試合開始時刻に間に合わない場合は遅刻した大学の棄権とみなす。

(但し学連側の不手際や天変地異などの正当な理由がある場合は除く。)

③選手登録用紙に登録されていない選手がいる場合

○責任者に選手登録されていない者は出場が認められないことを伝える。

→解決しない場合は速やかに学連事務所に連絡する

【学連規約より抜粋】

第五十三条

①参加大学は本連盟が指定した日時までに出場選手を選手登録しなければならない。ただし追加登録は本連盟への申請を行えば随時認める。

②選手登録がされていない選手が出場した場合、当該選手の矢は全て外れとする。

④確認前に矢に触れてしまった場合

○その的全ての矢を外れとする。

【学連規約より抜粋】

第三十七条 的中規定は次の規定に従う。

③行射終了後、的中確認をする前に矢を一本でも抜いた場合、その的全ての矢を外れとする。なお、それに準ずる接触行為も同様とする。また、的直し等においても的中確認を要する。ただし、行射前の場合であれば的中確認の必要はない。

⑤不明な矢が出た場合

○主審自らの場で確認する。その際、決して矢に触れてはならない。

○「規約の解釈」を参照(学連規約冊子に添付)

→解決しない場合は学連事務所に速やかに連絡し、判断を待つ。

⑥不適切な選手交替がなされた場合

【学連規約より抜粋】

〈リーグ戦の場合〉

第六十三条

①各大学は試合開始前に当日の試合に出場する選手八名と控え四名の氏名を立合い及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく出場した場合、当該選手の矢を全て外れとする。

—6—

第六十五条

選手交代する時には、当該する立が本座に進む前に立合い及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく交替選手が出場した場合、当該選手の矢を外れとする。

⑦失矢について

○失矢については、「弓の本はずが膝から離れたあとに落ちた矢」を失矢とみなす。
失矢かどうかの判断は立合が行う。

⑧監督・介添えの指導について

以下の行為を行った場合、該当する的全ての矢を外れとする。

【学連規約より抜粋】

第四十六条

①選手が射位にいるとき監督・介添・観客・選手間で次の行為または指導をしてはならない。

一、選手の体に触れて指導すること。

二、選手の狙いを見ること。

三、射位より前に出ること。

四、選手が審判の死角となる位置に出ること。

②前項の行為を行った場合、該当する的全ての矢を外れとする。

⑨引き直しについて

【学連規約より抜粋】

第四十五条

① 打起こしを開始した以降の引き直しはこれを認めない。但し試合運営に支障が生じる場合を除く。なお、試合運営

に支障が生じる場合とは突発的な災害や事故及び危険な場合であり、引き直しに該当するかどうかの判断は主審が行う。

② 打起こしの基準は、本弭が膝頭から離れた瞬間とする。

③ 当該校が引き直しを主張できるのは当該選手が次の矢の打起こしを行うまでとする。但し、最終矢に関しては、的中確認まで主張できるものとする。

引き直しの手順は以下の通りです。

- ① 選手から引き直しの要請がある。
- ② 引き直しを行うかどうかの判断。トラブル解決。
- ③ 行射再開後、全選手の行射終了を待つ。
- ④ 的中確認および矢取り。
- ⑤ 主審の指導で引き直しを行う。